

平成 22 年三条市議会第 6 回定例会請願文書表

受理番号	第 8 号	受理年月日	平成 22 年 12 月 13 日
件名	後期高齢者医療制度の廃止を求め る請願		
紹介議員	武藤元美君 西川哲司君		
請 願 文			
<p>【請 願 理 由】</p> <p>年齢によって差別する世界に例のない後期高齢者医療制度が2008年4月から実施されました。後期高齢者医療制度については、医療内容の低下や保険料の引下げ、年金からの天引き、保険料を払えない高齢者は保険証を取り上げられるなど、高齢者の健康と暮らしに重大な影響を及ぼしており、同制度に対する怒りが広がっています。</p> <p>もともと同制度は、自民・公明の連立政権のときに実施されたもので、これに対し、当時民主党を始め4野党一致で廃止することを国民に約束しました。</p> <p>しかし、民主党政権は同制度の廃止を2013年まで先送りにし、保険料値上げを防ぐ手立てもとらず、二重の公約違反で高齢者に痛みを押し付けています。また、8月末に厚生労働省が新しい高齢者医療制度の中間取りまとめを発表しましたが、高齢者を国保に集めて別勘定の制度を作るなど、国保に戻すといいいながら別枠を残す欺まんの内容です。これでは国民が安心できる医療制度とはなっていません。</p> <p>よって、後期高齢者医療制度を速やかに廃止し、元の老人保健制度を復活させ、将来の医療制度の設計については、いつでも、誰でも、どこでも平等に受けられる持続可能な医療制度を改めて作り直すことなど、次の事項について関係機関に意見書を提出して下さるよう請願いたします。</p> <p>【請 願 事 項】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 後期高齢者医療制度は速やかに廃止し、元の老人保健制度に戻すこと。 2 保険料の負担増が生じないよう、国民健康保険への国庫負担金を増やすことなど、必要な財政措置を講ずること。 3 70歳から74歳の高齢者の医療費窓口負担を原則1割にすること。 4 国庫負担を増やし、75歳以上の高齢者の医療費窓口負担を無くすこと。 			

付託委員会

市民福祉常任委員会